

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	1	開封日	平成28年6月1日
ご意見			
<p>私は“ゆうちょ銀行”利用者ですが、こちらに“ゆうちょ”の無いことに気が付いていましたので、本日こちらに来ましたので意見を書かせて頂きました。出来れば設置のほど宜しくお願い致します。</p>			
回答			
<p>御意見をいただきありがとうございます。 市役所庁舎を管理しております契約管財課からお答えいたします。</p> <p>市役所庁舎にATMの設置申請をされておりますのは6月時点で、西間下町の市役所第1別館にJAくまのATM1台でございます。</p> <p>現在、熊本地震を受け、市役所庁舎は西間下町の第1別館、仮本庁舎（カルチャーパレス内）、第2別館（スポーツパレス内）に分散し移転しております。市民の皆様には大変御不便をお掛けしております。</p> <p>御要望の市役所庁舎内のATMの設置につきましては、スペースの関係上、今後ゆうちょ銀行ATMを含めまして新市庁舎建設計画の際に検討して参りますので、御理解いただきますようお願い致します。</p>			

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	2	開封日	平成28年6月1日
ご意見			
<p>今日も又、“じゅぐりっと”が運転手さんお一人で運行しているのを見ました。私は帰省中で母の雑用に車であちこち周っています。日常的に交通手段がタクシーしかない高齢者と乗客のいない巡回バス、何かおかしい気がしています。</p> <p>巡回ルートの見直し、表示の見直し、もう少し使いやすく、地元の方も使えるバスにして頂けませんか？</p>			
回答			
<p>この度は本市の公共交通につきまして御意見いただきありがとうございます。また、路線バスの利便性につきまして、御不便をおかけして御しまして誠に申し訳ございません。</p> <p>「じゅぐりっと号」につきましては、人吉インターチェンジと市内中心部を結ぶ唯一の路線として運行を行って御しまして、特に朝夕は通勤者を中心に乗降がっておりますが、日や時間帯によっては閑散となることもございまして、市としましては市民の皆様がより使いやすくなるよう、改善のための検討を行うことと、利用増のために、機会を捉え更なる周知を行う必要があると存じております。</p> <p>また、バス路線に関することでございますが、本市においては本年度、人吉市地域公共交通網形成計画を策定予定でございまして、この計画は市内における交通体系についての基本方針となるものです。またこの計画の策定後は、人吉球磨全域を対象として、より詳細の路線等を定めた計画を策定する予定となっております。これらの計画の策定段階におきまして特に重要なことは、公共交通を御利用いただいている方をはじめとする市民の皆様から幅広い意見を頂戴し、いかに可能な限り反映していけるかでございます。</p> <p>今回の御意見にございました「じゅぐりっと号」をはじめ、今後も大小問わず御意見をいただき、満足度の高い、かつ、持続可能な公共交通体系を作り上げてまいりたいと存じておりますので、引き続き御意見賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>			

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	3	開封日	平成28年6月1日
ご 意 見			
<p>先日、新聞の折り込みチラシの中に、グレンツェンピアノコンクールの参加者募集のリーフレットがありました。</p> <p>人吉市で開催される犬童球溪顕彰音楽祭の「個人コンクール」は、審査員に音楽関係の大学教授などの専門家を招き、ピアノ演奏や声楽などを審査する音楽コンクールで参加費が無料になっています。これまでの入賞者の中からは、著名な演奏家も輩出している、とも聞きました。</p> <p>県内で開催される主な音楽コンクールでも参加費（出場料）が必要なようです。</p> <p>顕彰音楽祭は市の名誉市民の顕彰事業とはいえ、「個人コンクール」はコンテストなので、受益者とも言える出場者から参加費（出場料）を徴収して、会場費や審査員の旅費などの経費の一部に充てるべきではありませんか。</p> <p>熊日学生音楽コンクール（熊本日日新聞社主催） 出場料：6,000円 ※本出場には別途3,000円</p> <p>八代青少年音楽コンクール（八代演奏家協会主催、熊本日日新聞社共催） 参加費：6,000円（幼児・小学低学年）、6,500円（小学中・高学年） 7,000円（中学生）、7,500円（高校生）</p> <p>グレンツェンピアノコンクール（グレンツェンピアノ研究会、本部：鹿児島県伊佐市） 参加費：7,500円、8,000円、8,500円（会場別、本選別途）</p>			

回 答

この度は、貴重なご意見をありがとうございます。

現在、犬童球溪顕彰音楽祭は、今回ご意見をいただきました「個人コンクール」をはじめ、「碑前祭」「学校発表会」「音楽のひろば」の4つの行事を行い、子どもから大人までが音楽の感動を享受できる音楽祭として、今年で第70回を迎えます。

「故郷の廃家」「旅愁」をはじめ、360余編の作詞作曲をされた故犬童球溪氏は、日本の近代音楽に大きな功績を残した音楽家としてだけでなく、日本各地の尋常小学校や中学校、高等女学校、師範学校などでの教育者として、故郷の人吉球磨においても熱心な音楽教育を行われました。現在も教え子である市民が中心となり、地域での音楽文化を後生へ脈々と引き継いでおられます。

犬童球溪顕彰音楽祭の中でも、「個人コンクール」は、郷土愛にあふれた教育者としての故犬童球溪氏の児童や生徒への音楽教育に対する熱い思いを継承し、未来ある子どもたちが、日本や世界に通じる文化人として活躍するきっかけとなるような教育の場として開催しております。

このたび、犬童球溪顕彰音楽祭の個人コンクールの参加費（出場料）を徴収し、会場費や審査員旅費などに充てるべきとのご意見をいただきました。

確かに、この事業は主催者である人吉市の予算で運営しており、参加料を徴収して財源の一部に充てることは財政運営の面で望ましいことではございません。

しかしながら、本コンクールは高校生以下を対象としたコンクールであり、参加者のすべてが同様の家庭事情とは限りません。近年、出場者は募集人数に達していない状況で、有料とした場合、コンクール離れに更なる拍車をかけるのではないかと懸念もございます。また、地方開催ならではの親しみやすさや、参加のしやすさも当コンクールの特色であり、日頃から音楽を楽しみ、学んでいる子どもたちの発表の場の一つとして門戸を広げておくことは、音楽教育に心血を注いだ犬童球溪氏の思いを継承するものと考えております。

以上のことから、参加料徴収のご意見もあるということは理解し、本市の財政状況により、今後の検討課題としてまいります。当面の間、従来通り参加費無料の運営で努力していきたく思います。

今後とも、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。